

2024 年度 0 時間目の記録

2024 年 4 月 15 日(月)~21 日(日)

栽培中の植物

セルトレイ <ul style="list-style-type: none"> ● ジニア (プロフェュージョンレモン) ● マリーゴールド (ボナンザミックス) ● センニチコウ (オードリーホワイト) ● ジニア (プロフェュージョンチェリーバイカラー) ● ジニア (プロフェュージョンダブルホワイト) ● バジル 	ポリポット <ul style="list-style-type: none"> ● エダマメ (いきなまる) プランター <ul style="list-style-type: none"> ● ハツカダイコン (赤丸) ● ハツカダイコン (キスミー) 底面吸水 <ul style="list-style-type: none"> ● コリウス
---	---

栽培管理内容

日時	天気	気温 (°C)	管理・植物の様子・指導
		最高 (°C)	
		最低 (°C)	
4/15(月) 9:00	くもり	気温 (22°C)	<ul style="list-style-type: none"> ● セルトレイ、ポット、プランターすべてに灌水 ● 発芽数 ジニア:ホワイト7 ヒャクニチソウ:4 バジル:3 エダマメ:7 ● ハツカダイコンの子葉が重なり合いはじめていたので、全体の 3/1 ほどを間引いた (写真 1)。間引きは灌水前に行うのが望ましい。間引くときは、根元の土を少し押さえながら指で引き抜いた。ピンセットで引き抜いたり、ハサミで地上部を切除したりしてもよい ● エダマメの一部は、初生葉が子葉の間からのぞいていた
		最高 (30°C)	
		最低 (15°C)	
4/16(火) 9:00	くもり	気温 (23°C)	<ul style="list-style-type: none"> ● セルトレイに灌水 ● 発芽数 ジニア:ホワイト7 ヒャクニチソウ:4 バジル:3 エダマメ:8 コリウス:1 ● ハツカダイコンの本葉が出てきた。また、子葉が大きくなってきたので、今後子葉の色に注意する。子葉の色が黄色くなった (薄くなってきた)ら追肥のタイミング (土中の養分がなくなった)。市販の苗を購入する際も、子葉がついている苗は、まだ、肥料が切れていない印となる。もし、子葉がついていなければ、追肥を検討する。 ● 根の伸長と灌水の頻度
		最高 (30°C)	
		最低 (15°C)	

2024 年度 0 時間目の記録

			<p>セルトレイの底穴を確認して根が見えていたら、十分に主根が伸びている証である。側根は主根の先端が乾いて傷むと出てくる。側根が多い方が、養水分を吸い易く、土の渴きにも強いため、コンクリートなど平らな面に直置きするのではなく、あえて乾きやすい(底穴を塞がない)場所に置く。</p> <p>土表面が乾いていても、根が張っている土中は水分を含んでいるため、苗が育つにつれて、灌水間隔をあげて(これを、かん水を控えるという。ただし、かん水するときは鉢穴から水が出るまでたっぷり行う。表面だけが湿るような水やりはしない)、側根や根毛の出根を促す</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 子葉に異常(先端が枯れている等)がみられた場合の理由として考えられること <ul style="list-style-type: none"> ・1カ所から徐々に広がっていく→病害虫(カビの胞子や卵の付着部分から)の可能性 ・全ての葉が同様に傷んでくる→水切れ or 日焼け or 散布した液肥が濃かった <p>葉のみに葉先の傷み、葉のちぢれなどの異常があるが、胚軸がしおれることなくまっすぐ伸びていたり、葉の付け根(葉腋)から新芽が出ていたりしている場合は、まだ枯れていない。今までと同様に管理し、様子をみる。葉に斑点がある場合は、病斑かもしれないので、拡大するようなら苗を早めに抜取る</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ポットにかん水する場合 ポットの内側の縁の土を軽く押してウォータースペースを作ると水やりがしやすくなる
<p>4/17(水) 9:00</p>	<p>くもり</p>	<p>気温(22℃) 最高(31℃) 最低(16℃)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● セルトレイに灌水 ● 品種によってはまだ発芽しないものがあるが、これらは品種毎の発芽率の違いの可能性もある ● 植え替えの目安 <p>本葉が2枚以上出ているか(苗の成熟)・播種容器の底から根が出ているか(側根も出始めて根鉢ができる目安)・播種後3~4週か(これよりは、前出の2つが正確)を考慮して植え替え時期を決める。もし植え替えをしなければ、植物は小さなまま老化していく。植え替えてから1週間くらいで(切れた根の切り口にカルス=傷口をふさぐ細胞ができた頃)追肥と(必要なら)農薬(例:アブラムシ防除用のオルトラン粒剤。浸透移行性で、水溶液に溶けた農薬成分が根から吸収されて植物体内にいきわたる。その汁液を吸った虫が死</p>

2024 年度 0 時間目の記録

			ぬ)をやる。遅れると成長が進み、根から農薬成分を吸収しても新芽まで行き渡らない
			● 気温が高いと蒸散が盛んになり、生長も早くなる。その分、水の減少も早くなるため、灌水間隔が短くなるので、かん水の頻度が増える
4/18(木) 8:00	くもり	気温(20℃)	● 土の乾き具合から灌水なし
		最高(31℃)	● ハツカダイコンの胚軸の色は赤く、肥大してきており、本葉も大きくなってきた
		最低(15℃)	● セルトレイの底から根が出ているものが増えた
4/19(金) 9:00	はれ	気温(19℃)	● セルトレイのみ灌水
		最高(25℃)	● コリウスの発芽数が増えてきた。気温が上がりそうなので覆っていたクリアファイルを外し、トレイを逆さにかぶせ日よけにした(クリアファイルだと蒸されてしまう為)
		最低(10℃)	● 根部が肥大し、胚軸が裂けていた。これを初生皮層の剥奪という(写真2)。これは、胚軸の肥大が始まった合図。今後、さらに肥大していくには、水と光だけでは不十分なため、必要に応じて肥料を与える。茎や葉を大きくするには窒素、根の伸長にはカリ、花つきや実つきを良くするにはリン酸が良いので、これら3要素がバランスよく含まれる(8-8-8)あるいは、リン酸分やカリウムの比率が高い肥料がよい
			● アブラムシが発生したため、農薬(浸透移行性粒剤)のアドマイヤーを2g程度ポットに撒いた(写真3)。その後、灌水して薬剤を溶かし、根から吸収させ、その葉を食べさせることで駆除する(浸透移行性殺虫剤)。できるだけ苗が小さいうちに使用するのがよい
			● 農薬散布 ・曇っていて風がない日が適している(農薬がゆっくり乾いて農薬を含む溶液濃度が急激に上昇しないので薬害が出にくい、風がないため無駄なく散布でき、人への飛散も防げる) ・マスク・手袋を着用する ・散布翌日は、薬害が起きていないか必ず確認
			● ハツカダイコンの葉に穴(裂け目)を発見→葉の被害跡で何の害虫か推測することが大切。今回はナメクジかもしれないため、ナメクジ駆除用の錠剤を置いた(写真4)。ナメクジは、鉢の下や鉢穴に隠れていることが多い
			● ポット苗では、葉の広がり具合(上から見た時の葉の直径)

2024 年度 0 時間目の記録

			<p>と、ポット内の根の広がり具合（側根がポットの内壁面に向かって横に伸びていく速さ）は同程度であることから、地上部を見て根の成長を想像し、灌水量を考慮する（ポットの内径より葉の直径が小さいときは、側根の生育も少なく、土が乾きにくいので、土がよく乾くまでは水やりを控える）</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 水やりの目安として、葉が水平になっているか、垂れているかをみるとわかりやすい。土の面（水平面）に対して葉身が 180°、葉柄が 45°の状態がベスト。葉がそれよりも下がってハリがない場合、灌水の必要がある。ただし、ある程度育った状態で、日当たりが悪いと、上部から光が得られず、葉が側面を向くこともある。ハウス内で密植したトマトやキュウリでそうした状態を見かけることがある ● 灌水時には、なるべく葉に水をかけないように注意（カビ等の胞子が葉についていると、胞子が吸水・発芽して、病気が発生する可能性があるため） ● 観察をする時は、まず成長点を見る。植物の状態を判断しやすく、また害虫は成長点に来やすいため。そのあと、全体や葉裏もみる（葉裏にもアブラムシなどが多い）
4/20(土) 8:00	はれ	気温(22℃)	● 灌水なし
		最高(28℃)	● アブラムシを確認したところ、発生時よりも少なくなっていた（追肥や農薬散布をしたら、必ず翌日にその影響を観察することが大切。アブラムシが減ったのは効果ありだが、農薬成分が効かない個体が出現して再び増殖することもあるので、油断は禁物）
		最低(13℃)	
4/21(日) 9:00	霧雨	気温(19℃)	● 乾いているものに灌水
		最高(29℃)	● ハツカダイコンは、本葉も胚軸もさらに成長・肥大していた
		最低(18℃)	● エダマメの初生葉がさらに大きくなり重なるようになってきた

※発芽数の下線は、播種した全ての種子が発芽したことを示す

2024 年度 0 時間目の記録

写真



写真 1 4/15(月) 左:間引き前 右:間引き後



写真 2 初生皮層の剥奪



写真 3 アドマイヤーの散布
(1箇所固めて置くより、数カ所に
まいたほうが、薬が水に溶けやすい)



写真 4 ナメクジ退治の錠剤